

[別紙⑤]

第2学年 道徳 学習指導略案

- 1 主 題 女の子なら、男の子なら 公正、公平、社会正義C-(13)
- 2 資 料 名 「どうしてだろう？」(ほほえみ)
- 3 ね ら い
- ・ 人を性差のみによって判断することの誤りに気付き、個性を認め、友だちに公正・公平に接しようとする道徳的実践意欲を培う。
 - ・ 日頃の生活の中で、性別による役割や必要のない区別があることに気付き、性差だけで決めつけることの不当性を身に付ける力を養う。
- 4 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習2-(2)-ア
- 5 展 開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点等と評価 (※)
1 話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんなお話でしたか。 ＜女の子の場面＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園で遊んで楽しそう。 ・ だろだらけになった。 ＜男の子の場面＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車で転んでけがをした。 ・ いたくて泣きながら家に帰った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を把握するために、お話を聞いた後、全体で流れを確認する。 ・ 女の子と男の子の場면을掲示物で分けて提示することで、両方の気持ちを考えやすくする。
<p>女の子と男の子のなやみを考えよう。</p>		
2 二人のもやもやしている気持ちを考える。 【個→ペア→全】	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうして二人は悩んでいるのでしょうか。 ・ 「おとこのこならもっとつよくなりなさいよ。」と言われたから。 ・ 「おんなのこだったらおとなしくしないと。」と言われたから。 ○ おじいちゃんとお母さんのことばを聞いて、どんなことを考えているのでしょうか。ワークシートに書きましょう。 ・ どうして女の子だったらおとなしくって言われるんだろう。 ・ 男の子は強くないといけないのかな。泣いたらだめなのかな。 ○ 女の子だから「おとなしく」、男の子だから「強く」と決まっているのかな。みんなはどう思いますか。 ・ 決まってないと思う。 ・ 痛いときや悲しい時はみんな泣く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男の子たちがおじいさんとお母さんのことばを聞いて違和感を抱いていることに気付かせる。 ・ 書くことが難しい児童は、教師が個別に聞き取りをする。考えやすい方から書くように声かけをする。 ・ 「おとこのこは」「おんなのこだったら」ということばに注目させ、もやもやしている理由やそのときの気持ちを考えさせる。 ・ 子どもたちの発言に問い返ししながら、性別によって決めつけるのは誤りだということに気付かせる。
3 自分だったらどんなことばをかけるか考える。 【個】	<ul style="list-style-type: none"> ○ あなたなら、男の子と女の子に何と声をかけますか。 ・ 好きなことをして遊んだらいいよ。 ・ 女の子だからといって、おとなしくしなくてもいい。 ・ 痛かったね。男の子も泣いていいんだよ。 ・ 強くないとだめとは決まってないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 性別によって判断したり、決めつけたりすることが誤りだと気付いているか。(発言・ワークシート) ・ 女の子や男の子への声かけをワークシートに書かせることで、実践的な力を身に付けさせたい。 ・ 「もし、友だちが悩んでいたなら何と言ってあげたい？」と聞き、その子の自分らしさを大切にしようとする気持ちをもてるようにする。
4 まとめ【全】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分がしたいと思ったことや好きなことと、男の子、女の子(性別)は関係ない。周りに合わせたり、我慢したりしなくていい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に、「自分らしさ」とは、それぞれの違いを認め、相手の思いを大切にすることでみんなが自分らしく生活できるということをおさえる。